



**悪を避け、善を行い、平和を尋ね求め、追い求めよ。(詩34:15)**

2023年も残りわずかとなりました。健康を支えられ、穏やかな日常生活を過ごせていることに心より感謝しております。また、多くの友人、知人の温かい思いやりに囲まれ、嬉しく、有り難いと感謝せずにはられません。

止むことのない戦争を悲しみ、今年のクリスマスカードに、私は **悪を避け、善を行い、平和を尋ね求め、追い求めよ。(詩34:15)** との御言葉を記し、平和を求めて、祈りました。けれども、平和のために何が出来ただろう。自分の行った行為はどんなものだったか。無力であった、恥ずかしいと嘆くばかりです。

クリスマスにこのように落ち込んだ気分になっていたところ、25日にラインが届きました。それは孫の写真を送ってくれた友人のものでした。友人のアメリカに住む幼いお孫さんがイエス様への手紙を手にもって礼拝に参加している写真です。その手紙は「イエス様へ。今日の特別な日を有難う。おじいちゃんが天国で楽しいクリスマスを過ごしていますように。イエス様、お誕生日おめでとう (抄訳)」というものでした。

そう言えば、私は今まで一度もイエス様に「お誕生日おめでとう」と言ったことがありませんでした。イエス様が「私の祈りを共に聞いてくださって、いつも、どんなときも私のそばにいて助け、慰め、励ましてくださる」ことへ「感謝」という気持ちだけでした。だから、私のほうがハッピーになって、クリスマスをお祝いしていました。イエス様がハッピー？

『使徒信条』でもイエス様が生きている間は「処女マリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、」の部分が大きくて、とてもハッピーな生涯ではありません。今の時代の有様を見て、ハッピーではあり得ないでしょう。



今日を感謝し、愛する人の幸せを祈る、友人の幼いお孫さんのような信仰を見て、イエス様はハッピーな気持ちになって下さるのでは、という思いになりました。年齢を重ねたのに無力ですが、私の拙い祈りの時に、イエス様の笑顔を中心に思い描いて、祈り続けたいと思っています。

クリスマス・イヴにプレゼントを開くように、イエス様が愛された「空の鳥」のため、バルコニーで、完熟させた赤い実のクリスマス・ホリーの覆いを外しました。早速、ヒヨドリ、メジロが啄みにやってきました。しばらく身近に小鳥を見られます。みんなハッピーですね？